



【社会】

＜勉強すること＞「市のとく色やよさ」「アイヌ語の地名」

◆「市のとく色やよさをまとめよう」（教科書30～31ページ）や地図帳、学校で使っているしりょうなどをさんこうに、札幌市のとく色やよさについて、ノートやとりくみシートにまとめましょう。

(1) これまで学習してきたことをもとにして、札幌市のとく色やよさについて「じまんできるところ」を下の□から2つえらんで、それぞれ文しょうで書きましょう。

※教科書31ページの「じまん」をさんこうにしよう。

- 土地の高さや広がり
- 土地の使われ方
- 交通の様子
- 公共しせつ
- 古くからのこるたて物

じまん 1 土地の使われ方

土地の使われ方がいろいろ

市の南がわや西がわは高い土地が多く、スキー場などがある。さっぽろえきのまわりは、人が集まるしせつやお店が多い。

◆北海道には、昔から住んでいるアイヌ民族のことばであるアイヌ語がもとになっている地名がたくさんあります。

(1) アイヌ語では、「川」のことを「ベツ」と言います。この音に読み方がにている「別」という漢字をつかう地名は、アイヌ語がもとになっています。地図帳27～28ページ、69～70ページから「別」のつく地名を2つさがしてみよう。

＜保護者による関わり方のポイント＞※可能な範囲でお願いします。

- ・住んでいて札幌のよいところはどこか、観光客は何を見に来るかなど聞いてみると、様々な立場から札幌のよさを捉えることができます。
- ・札幌や豊平、厚別など札幌市内にも、アイヌ語がもとになっている地名がたくさんあることを伝えるとアイヌ語の地名に対する興味を高めることができます。

【札幌のアイヌ語地名（現在の地名…アイヌ語…意味）】

- ◇札幌…サツポロベツ…乾く・大きい・川
- ◇豊平…トウイエピラ…崩れる崖
- ◇厚別…ハシベツ…雑樹・川
- ◇琴似…コツネイ…凹地・になっている・もの
- ◇手稲…テイネニタツ…濡れている・湿地
- ◇苗穂…ナイボ…小さい川
- ◇平岸…ピラケシ…崖の端
- ◇茨戸…パラト…広い・沼
- ◇簾舞…ニセイオマブ…絶壁のある所 など

出典「アイヌ語地名リスト」（北海道環境生活部）